



TITLE:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1981, 37(1)

ISSUE DATE:

1981-10-20

URL:

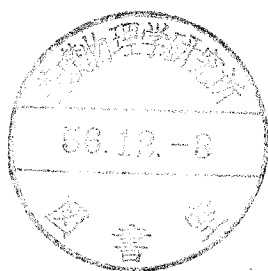
<http://hdl.handle.net/2433/90357>

RIGHT:

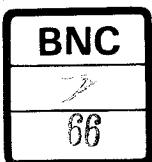
昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和56年10月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第37卷 第1号

vol. 37 no. 1

物性研究



1981/10



京大附図

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにしてください。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないような処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0（ゼロ）、uとnとr、cとe、l（エル）と1（イチ）、xとX（カケル）、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm²)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を**50部単位**で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

（郵券による受付はいたしません）

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b)x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニュース

[東京大学理学部]

○人のうごき

小野義正氏アメリカより帰国

[東京大学教養学部]

○談話会

9月8日(火) Prof. R. Sizmann (SEKTION PHYSIK der Universität München) Utilization of Solar-Energy, Challenge for Basic Research.

プレプリント案内

[京都大学基礎物理学研究所]

- 10-1 Heng-Ji Huang and Kiyoshi Kawamura
The Deformation Potential and the Deformation Operator
Associated with a $\langle 110 \rangle$ -Screw Dislocation in a fcc Crystal
- 10-2 Takeo Izuyama and Yasuhiro Akutsu
Statistical Mechanics of Biomembrane Phase Transition. I.
Excluded Volume Effects of Lipid Chains in their
Conformation Change
- 10-3 L. Masperi and C. Omero (Miramare-Trieste, IC/81/55)
Variational Approach for the N-State Spin and Gauge Potts
Model
- 10-4 K.G. Petzinger (Villigen, PR-81-08)
The Transition Between Coherent and Stochastic Motion of
Light Interstitials
- 10-5 Robert Mills (Ohio)
Analytic Approximation for Substitutional Alloys. II.
Multiple-Scattering Approach
- 10-6 I.A. Vakarchuk and E.I. Zubko (Kiev, NTΦ-81-35P)
Virial Expansion for the Quantum Binary Solution of Hard
Spheres (R)
- 10-7 S.N. Bochkov and N.G. Inosemtseva (Kiev, NTΦ-81-32P)
On Microscopic Solutions of the Boltzman-Ensky Equation(R)
- 10-8 V.V. Kukhtin and V.N. Semyanovsky (Kiev, NTΦ-81-66P)
The Probability of Level-Crossing by Some Poisson Flows of
Rectangular Impulses (R)
- 10-9 Z.A. Gurskii (Kiev, NTΦ-81-46P)
Phonon Spectrum of Binary Alloys (R)
- 10-10 I.R. Yukhnovsky, M.P. Kozlovsky and V.A. Kolomiets
(Kiev, NTΦ-81-47P)
Calculation of Critical Indices of the Three-Dimensional Izing
Model (R)

- 10-11 I.R. Yukhnovsky, M.P. Kozlovsky and V.A. Kolomiets
(Kiev, $\mathcal{N}T\Phi$ -81-48P)
Specific Block Lattice for the Three-Dimensional Ising
Model with Nonzero Mean Spin Moment of the Block (R)
- 10-12 A.K. Vidybida (Kiev, ITP-81-55E)
On the Bogoliubov Hierarchy for One-Dimensional System
of Particles with Hard Cores
- 10-13 I.A. Vakarchuk, Yu.K. Rudavsky and G.V. Ponedilok
(Kiev, $\mathcal{N}T\Phi$ -81-44P)
New Equations for Correlation Functions and the Green's
Functions in a Continual Integration Method. The
Heisenberg Quantum Model (R)
- 10-14 I.A. Vakarchuk, Yu.K. Rudavsky and G.V. Ponedilok
(Kiev, $\mathcal{N}T\Phi$ -81-45P)
The Free Energy of Amorphous Ferromagnet with the
Heisenberg Exchange Interaction (R)
- 10-15 M.F. Holovko, O.A. Pizio and A.D. Trokhimchuk
(Kiev, $\mathcal{N}T\Phi$ -81-58P)
Some Problems of Thermodynamics of Ionic Systems (R)
- 10-16 N.G. Inosemtseva and B.I. Sadovnikov (Kiev, $\mathcal{N}T\Phi$ -81-31P) (R)
On Nonlocal Hydrodynamics Equations in Linear Approximation
- 10-17 Shigeo Homma, Toshizumi Aoki and Shozo Takeno
Flowing States and Vortices in the Classical XY Model in
an External Field
- 10-18 G. Brauer, A.V. Volynskaya, B.P. Molin, A.Y. Skripkin and
V.P. Shantarovich (Dresden, ZfK-439)
Micellization of Sodium Dodecylsulfate in Aqueous
Solutions Studied by Positron Annihilation
- 10-19 Constantino Tsallis and Silvio V.F. Levy
(R.J., CBPF-NF-021/81)
Simple Method to Calculate Percolation, Ising and Potts
Clusters — Renormalization Group Applications

- 10-20 Constantino Tsallis and Darly M.H. da Silva
(R.J., CBPF-NF-022/81)
Spin Anisotropy Effects on the Dimerization of the Magneto-
strictive One-Dimensional XY Model
- 10-21 F.C. Alcaraz and C. Tsallis (R.J., CBPF-NF-024/81)
Pure and Dilute $Z(N)$ Spin and Generalized Gauge Lattice
Systems: Duality and Related Conjectures
- 10-22 H.O. Martín and C. Tsallis (R.J., CBPF-NF-025/81)
Renormalization Group Specific Heat and Magnetization of the
Ising Ferromagnet in Cubic and Hypercubic Lattices
- 10-23 Lucio Iannarella, A.P. Guimarães and X.A. da Silva
(R.J., CBPF-NF-023/81)
A Simple Model Approach to Localized-Itinerant Magnetism:
Application to Rare-Earth Intermetallics
- 10-24 H. Heintzmann and M. Novello (R.J., CBPF-NF-020/81)
An Action Principle for a Hot Plasma in Curved Space-Time
- 10-25 N. Andrei (RU-81-045)
Calculation of the Magnetoresistance in the Kondo Model
- 10-26 Yoshikazu Suzumura and A.D.S. Nagi (Waterloo)
Pairing in One-Dimensional Antiferromagnetic Superconductors
in the Presence of a Homogeneous Magnetic Field
- 10-27 Toshio Tsuzuki
On the Quasi-Particle Properties of a Disordered Fermion
System in Two Dimensions
- 10-28 T. Tsuzuki
Crossing Electric and Magnetic Field Dependence of Non-
Metallic Conduction in a Two-Dimensional Random System
- 10-29 Toshio Tsuzuki
Non-Linear and Non-Equilibrium Properties of Two-Dimensional
Disordered Systems. I. Conductivity

(R): Russian

掲 示 板

湯川記念財団奨学生募集について

財団法人 湯川記念財団

理事長 湯 浅 佑 一

このたび、下記要項により昭和57年度奨学生を募集することになりましたので、貴部内関係者に周知方よろしく申し上げます。

なお昭和56年度より、当奨学生は原則として基研研究員（別添同研究員内規等参照）として採用され、本財団奨学金と合わせて日本学術振興会奨励研究員と同額程度の月額が支給される予定となっております。

記

奨 学 生 募 集 要 項

1. 応 募 資 格

大学院博士課程修了者及び昭和57年修了予定の理論物理学研究者（この奨学金は大学院博士課程修了者に、その研究の完成を援助する目的をもって重点的に交付されるいわゆる Post Doctorial Fellowship として支給されるものである）

2. 支 給 月 額

月 額 40,000 円

支給期間は1年間を原則とするが、場合により1年延長することがある。

3. 研 究 場 所

基礎物理学研究所において研究することを原則とする。

4. 募 集 人 員

3 名 （内訳は大体素粒子論2名、物性論1名、中間の領域については適宜定める）

5. 応 募 書 類

- (1) 申 込 書（別紙様式による）
- (2) 発表論文リスト 共著論文の共著者名を明記すること
- (3) 主な論文の別刷
- (4) 研究計画（なるべく具体的に記すこと）

各2部

掲示板

以上を昭和 56 年 12 月 12 日 (土) までに〒 606 京都市左京区北白川小倉町 50 の 227 湯川記念財団あて送付すること。他に奨学金その他の収入のある場合は必ず書き添えること。

6. 審 査

審査は基礎物理学研究所運営委員会に依頼する。

(別紙様式)

湯 川 記 念 財 団 奨 学 生 申 込 書

このたび、別紙関係書類を添えて貴財団奨学生に応募しますからよろしくお願いします。

昭和 年 月 日

本 籍

現住所 (現住所は大学の研究室等でなく、現実に居住している場所を郵便物が届くように詳細に書くこと)

(〒)

氏 名

印

昭和 年 月 日生

財 団 法 人 湯 川 記 念 財 団
理 事 長 湯 浅 佑 一 殿

略 歴

氏 名

昭和 年 月 日生

高 等 学 校	昭和 年 月 高等学校 課程卒業
大 学	昭和 年 月 大学 学部 入学
	昭和 年 月 大学 学部 学科卒業
大 学 院	昭和 年 月 大学大学院入学 専攻科目 昭和 年 月博士課程修了見込 " 修 了

基 研 研 究 員 募 集

基研研究員を下記により募集いたしますので、関係者各位に周知方よろしくお取り計らい願います。

なお、ご参考までに基研研究員制度内規等を添付いたします。

京都大学基礎物理学研究所長

牧 二 郎

記

1. 応募資格 当研究所において研究に従事することのできる者で、採用時に博士の学位を取得している者または博士課程に3年以上在学した者であって、かつ、常勤的な職についていない者
(博士課程に在学中の場合は採用時に退学していただきます。)
2. 採用人員 3 名
3. 採用期間 昭和57年4月1日より1ケ年間とするが、場合により1ケ年に限り更新することができる。
4. 待 遇 日本学術振興会奨励研究員制度による奨励金と同額以内を支給する。
 ただし、湯川記念財団奨学生に採用された場合は、湯川奨学金と合わせて同奨励金と同額が支給される。
5. 公募締切 昭和56年12月12日(土)必着
6. 選 考 昭和57年1月末開催の基礎物理学研究所運営委員会において決定し、本人に通知する。

7. 応募書類 イ. 申込書（別紙様式による）
 ロ. 履歴書
 ハ. 発表論文リスト（共著論文の場合は共著者名を明記すること。）
 ニ. 主な論文別刷
 ホ. 研究計画（なるべく具体的に記すこと）

以上各 2 部

8. 宛 先 〒 606 京都市左京区北白川追分町
 京都大学基礎物理学研究所長
 牧 二 郎

- 追 記 1. 湯川記念財団奨学生に応募する者は、上記応募書類のうちロ～ホは不
 必要です。
 2. 基研研究員応募と朱書のこと。
 3. 応募書類はお返しいたしません。
 4. 詳細は基礎物理学研究所共同利用事務室に問い合わせのこと。
 電話 075（751）2111（代）（内線）7008

基 研 研 究 員 制 度 内 規

- 第 1 条 基礎物理学研究所に若干名の基研研究員（以下「研究員」という。）を採用する。
 研究員に採用される者は、博士の学位を取得した者または博士課程に3年以上在学した者で、かつ、
 常勤的な職についていない者とする。ただし、採用期間中は博士課程に在学することはできない。
- 第 2 条 研究員は、基礎物理学研究所において研究に従事するものとする。
- 第 3 条 研究員の任期は1ヶ年とする。ただし、場合によりその任期を1ヶ年以内に限り更新する
 ことができる。
- 第 4 条 研究員には、日本学術振興会奨励研究員制度による奨励金と同額以内の給与を支給する。
- 第 5 条 採用は公募によるものとし、候補者の選考は基礎物理学研究所運営委員会において行う。
- 第 6 条 本内規の運用につき必要な事項は基礎物理学研究所協議委員会において定める。

附 則

この内規は昭和55年12月8日協議委員会において制定

基研研究員制度の運用について

昭和 55 年 12 月 8 日協議員会決定

昭和 56 年 10 月 12 日一部改正

本制度は当分の間、下記のとおり運用する。

記

1. 研究員の総数は、毎年度約 3 名とする。
2. 本研究員に採用された者は、原則として湯川記念財団奨学生の候補に推せんされるものとし、同奨学生に採用された場合は、湯川奨学金と合わせて日本学術振興会奨励研究員制度による奨励金と同額が支給される。
3. 研究員任期の更新（1 年以内）については、各年度後半の適当な時期に、個々の研究員について審査のうえ、本人に通知する。
4. 欠員を生じた場合は、年度途中において公募を行うことができる。

昭和 57 年度研究計画・アトム型研究員第 1 回募集

京都大学基礎物理学研究所

所長 牧 二 郎

昭和 57 年度の基研研究計画及びアトム型研究員の第 1 回募集を下記の通り行います。長期・短期・モレキュール型研究計画の外に、従来の枠にとらわれない新しい研究計画の応募も歓迎致します。

記

1. 募集内容 長期・モレキュール型研究計画については昭和 57 年 4 月から昭和 58 年 3 月までに実施の提案。短期研究計画については昭和 57 年 4 月から同年

9月末までの間の計画。それぞれの内容は別項参照（必要な場合には基研共同利用事務室へお問い合わせ下さい。）

2. 締 切 昭和 56 年 12 月 12 日（土）（必着）

3. 宛 名 京都市左京区北白川追分町（〒 606 ）

京都大学基礎物理学研究所

共同利用事務室

電話 075（751）2111（代）（内線）7008

4. 応募の際は A 4 判の「青焼き」コピーが容易なように薄手の用紙に黒のボールペン又は黒インクで御記入の上、封筒の表に研究計画又はアトム型研究員応募と明記してお送り下さい。

5. 基礎物理学研究所研究部員会議及び運営委員会（昭和 57 年 1 月末頃の予定）で審議決定します。

別 項

A 研究計画

長期研究計画

（あるテーマについて数か月から 1 年にわたって連絡をとりつつ研究を行うもので、普通年 1 ～ 2 回研究会を行っている。但し内容によっては、1 年以上にわたる研究計画を提案することもできる。）

短期研究計画

（あるテーマについて数日間研究会を行う。）

モレキユール型研究計画

（数人が随時連絡をとりつつ研究する。）

イ) 研究テーマとその内容

応募書類はあらかじめ研究部員に配っておき、研究部員会議で充分討議致しますので、主旨及び問題点を具体的に書いて下さい。

ロ) 世話人及び提案説明者

世話人として主な研究計画立案者を二人以上あげ、その中の一人を連絡責任者として指定して下さい。基研研究部員会議で提案の説明をしていただきますので提案説明者を決めて下さい。基研研究部員が参加者にいる場合はなるべく研究部員が提案説明にあたして下さい。

ハ) 研究会及びその他の会合の開催希望時期及び日数

ニ) 研究会及びその他の会合に参加する研究者の予定数およびその地域分布（この項については 第 81 回研究部員会議議事録（1981 年 7 月）6 頁 “研究計画の研究会旅費算定方法について” をご覧下

掲示板

さい。)

ホ) 校費の必要額(項目別に明記して下さい。)

B アトム型研究員

アトム型研究員は大学院生を含む研究者を対象とし、個人がある期間、当研究所に滞在して研究を続けていただくものです。

但し、特別の事情がある場合には当研究所以外を研究場所とする計画も認めております。これについての詳細は第54回研究部員会議議事録(1971年11月)22頁、“地方大学の研究条件の改善について”をごらん下さい。

イ) 所属・身分及び連絡先

ロ) 研究テーマとその内容

計画の内容、応募の目的をなるべく具体的に御記入下さい。他の研究計画と関連させて申し込まれる場合は、その旨明記して下さい。

ハ) 滞在希望時期及び期間

滞在期間は(A)1か月程度(場合によっては2週間程度でもよい。)又は(B)2～3か月程度(年間4～5人)の2種類とします。応募の際はA又はBのどちらの種類を希望するかを明記して下さい。応募者が一時期に集中し、基研の収容能力をこえる場合は、一部時期の変更をお願いすることもあります。(昭和55年度の利用者は滞在2か月1人、1か月16人、3週間5人でした。)

C 新しい型の研究計画

従来の研究計画の枠にとらわれない計画も歓迎しております。

1983年京都サマー・インスティテュート(KSI)

の 企 画 募 集

京都大学基礎物理学研究所

基礎物理学研究所では、1978年より例年、夏の学校とワーク・ショップの性格をもち、国外からの参加者も含めた京都サマー・インスティテュート(KSI)を開催してきておりますが、1981年KSIからは広く企画を募集することといたしました。つきましては、提案をお持ちの方は積極的に御意見をお知らせください。次回研究部員会議(1982年1月末頃の予定)において討議の上、適当な案をとりまとめ、実施したいと考えております。

記

1. 提案締切 : 1981年12月12日(土)(必着)
2. 宛 先 : 京都市左京区北白川迫分町 (〒606)
京都大学基礎物理学研究所 共同利用事務室
(TEL)075-751-2111 内線7008
3. A4判の「青焼き」コピーが容易なように薄手の用紙に黒字でお書きの上、封筒の表に「KSI企画提案」と明記してお送りください。
4. 御意見・御提案はなるべく下記の点についてお書きください。
 - a) テーマとその内容(なるべく具体的に。)
 - b) 実施時期および日数
 - c) 参加者の対象と規模
 - d) 招待したい研究者ないし講師(国内・国外を問わない。)
 - e) 同時期に他の研究機関で開催が計画されている関連分野の企画(小規模国際研究集会、国際会議等を含む)との関係
 - f) 本KSIを実施する場合の組織(組織委員会、実行委員会等)の構成(人名についての提案を含む。)

g) その他の御意見

参 考

開催時期	テ　　マ	参加者数		講　師　数	
		国内	国外	国内	国外
1978年 9月1日～5日	Particle Physics and Accelerator Projects	人 129	人 30	人 2	人 11
1979年 9月8日～ 12日	Physics of Low-Dimensional Systems	69	15	2	5
1980年 9月8日～ 11日	Amorphous Semiconductors	161	26	3	10
1981年 6月29日～ 7月3日	Grand Unified Theories	121	10	2	8
1982年 (予定) 7月12日～ 16日	Microscopic Theories of Nuclear Collective Motions	～100		2	4

なお、これまでの経過については、研究部員会議事録（1977年6月・第71回以来）を御覧ください。

1978年の記録は参加者、関係分野の研究室等、1979年および1980年の記録は参加者にお届けしてあります。1981年の記録は近く刊行される予定です。

基研研究部員会議議題募集

来る昭和57年1月21日(木)、
22日(金)に基研の研究部員会議が
行われる予定ですので、議題がござい
ましたら提案趣旨とともに昭和56年
12月12日(土)必着で下記にお申
し込み下さい。

〒606

京都市左京区北白川迫分町
京都大学基礎物理学研究所
研究部員会議議長団

編 集 後 記

京都の残暑はいつようもなく厳しいが、ある日雨が降り、雨上りと共に涼しい風が吹きわたって秋になる。ちょうどそのような日であった。ラジオをきゝながら仕事をしていた院生が湯川先生がお亡りになられたことを皆に知らせてくれた。御逝去の記事と共にいろいろなことを新聞で読んだ。Progress of the Theoretical Physicsは先生が私費を投じて始められた刊行物であることをはじめて知った。編集会議には御最後までお出でになられていられたそうである。「物性研究」の編集会議は今月もどうして毎月きちんと発行になるようにしようかという相談にあけくれた。投稿された方々を理由もなく何箇月もお待たせし、編集部が時に間に合うように記事を書くこともできない。こんな状態で何ができるであろうか。私事になるが8月に日本化学会編の化学便覧の改訂版の原稿締切があった。追いこまれて2回徹夜をした。しかし丸善の人達がこちらにに応じてやって下さる姿が目につかび貰いっぱいに鮮明な活字でうめて下さる仕上りを考えたらずくはなかった。「物性研究」を、期待して手にとった「物性論研究」の時代の状態に甦えさせたいものである。戦後を歩き出した理学部の学生にとって「物性論研究」はでたら毎月必ず見る雑誌であった。

(H. K.)

物 性 研 究

第 37 卷 第 1 号
1981年 10月 20日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市左京区百万辺交叉点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

定価 年 8,760円

講読規定

個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1 st volume	2,340円
2 nd volume	2,340円
計	4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 37-1 (10月号) 目 次

○講義ノート

水の話.....山本常信.....	1
-------------------	---

○研究会報告

広領域の相転移物理学.....	19
-----------------	----

○ニュース.....	59
------------	----

○プレプリント案内.....	60
----------------	----

○掲示板

湯川記念財団奨学生募集について.....	63
----------------------	----

基研研究員募集.....	66
--------------	----

昭和57年度研究計画・アトム型研究員第1回募集.....	68
------------------------------	----

1983年度京都サマー・インスティテュート(KSI)の企画募集.....	71
--------------------------------------	----

基研研究部員会議議題募集.....	73
-------------------	----

○編集後記.....	74
------------	----